

諸家系譜

倭
又
前田

庫文官政太			
二二九	三二六四九	和	書門
冊	架	函	號類

庫文閣內			
二二九	三三三	和	書
冊	冊	函	號類

內閣文庫		
番號	和	32649
冊數	225 (191)	
函號	156	23

共二百廿五ノ内

共八十五



世

古水公房 申年二月廿七日 古水公房 謹言

吉

縁起 了 年花 吉

右 白 子 氏 之

子 子 之 氏

上 法

東 洋 院

古水公房 謹言

吉

古水公房 謹言

古水公房 謹言

宣 統 元 年 五 月

古水公房 謹言

印

宣 統 元 年 五 月

古水公房 謹言

法 氏

古水公房 謹言

系 譜

古水公房

謹言

申

古水公房 謹言

古水公房

古水公房 謹言

古水公房 謹言

藤原氏

後高

大藏卿藤原良相
利仁自中書省入
左大臣藤原良相
右大臣藤原良相
左大臣藤原良相
右大臣藤原良相

藤原氏

家收

定收

收收

同

中書省

左

母

書

壬寅八月

壬寅八月

壬寅八月

壬寅八月

江戶府

慶長十一年八月五日

作

大御所代定

江戶府

江戶府

丹波國

丹波國

丹波國

丹波國

丹波國

丹波國

丹波國

丹波國

丹波國

丹波國

丹波國

丹波國

丹波國

一 十月廿三日 行書印

年九月廿八日

四十年五月廿二日
出川西村上
正保元甲申年二月廿九日
病元市中
中

晴次

又

紙中

直勝

主勝

年

年

母

年

書

年

妻

年

林

出
前

一 姓行ふも金部家系なり 姓行ふも此の
重なり也 此の姓は 重なり也 此の姓は
有く 此の姓は 此の姓は 此の姓は
姓は 此の姓は 此の姓は 此の姓は
此の姓は 此の姓は 此の姓は 此の姓は
此の姓は 此の姓は 此の姓は 此の姓は
此の姓は 此の姓は 此の姓は 此の姓は
此の姓は 此の姓は 此の姓は 此の姓は

大融云 此の姓は
正保元甲申年三月十九日 谷勝西死に
同年月日 石知海武 此の姓は 此の姓は
慶安元甲子年八月 此の姓は 此の姓は
此の姓は 此の姓は 此の姓は 此の姓は
此の姓は 此の姓は 此の姓は 此の姓は

歳有之 此の姓は 此の姓は 此の姓は
此の姓は 此の姓は 此の姓は 此の姓は
此の姓は 此の姓は 此の姓は 此の姓は
此の姓は 此の姓は 此の姓は 此の姓は
此の姓は 此の姓は 此の姓は 此の姓は
此の姓は 此の姓は 此の姓は 此の姓は
此の姓は 此の姓は 此の姓は 此の姓は
此の姓は 此の姓は 此の姓は 此の姓は

日中甲午年十月廿五日
計日之法

羽屠元乙未年八月廿九日
石人隨府中書口 作。

日年十月廿五日

日年十月廿五日

日年十月廿五日

日年十月廿五日

日年十月廿五日

日年十月廿五日

日年十月廿五日

日年十月廿五日

日年十月廿五日

日年十月廿五日

日年十月廿五日

日年十月廿五日

日年十月廿五日

日年十月廿五日

日年十月廿五日

同治四年七月廿五日
同治四年七月廿五日
同治四年七月廿五日
同治四年七月廿五日
同治四年七月廿五日
同治四年七月廿五日
同治四年七月廿五日
同治四年七月廿五日
同治四年七月廿五日
同治四年七月廿五日

同治四年八月廿八日
同治四年八月廿八日
同治四年八月廿八日
同治四年八月廿八日
同治四年八月廿八日
同治四年八月廿八日
同治四年八月廿八日
同治四年八月廿八日
同治四年八月廿八日
同治四年八月廿八日

因事公行乃保其家法也
仕此等

常事

同九年六月十日
月八日

壬子年十一月
事

同九年六月十日
事

同九年六月十日
事

二月十日
事

同九年六月十日
事

同九年六月十日
事

同九年六月十日
事

日...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

日...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

○

日本元正元年正月十一日
御書

御書

御書

御書

御書

御書

御書

女子

母

御書

好勝

母

母

御書

勝城

母

御書

妻

御書

御書

御書

為...

常...

元祐元年...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

牛... 南... 氏... 氏...

母... 氏...

忠... 氏...

母... 氏...

忠... 氏... 氏...

元... 氏... 氏...

勝... 氏...

母... 氏...

元... 氏... 氏... 氏...

母... 氏...

直致

在平ノ方必 甚矣

直尹

母

妻

子

妻

不詳有難辨性年三月廿七日

妻

不詳有難辨性年三月廿七日

日文正徳十年二月廿七日

日記已書年三月廿七日

四月廿七日

上原

室少女侍年十月廿七日

享保八年十月廿七日

享保九年十月廿七日

母

同享保九年十月廿七日

中

有徳公 沖月之侍

御新田用次

日中七年十月廿七日

昔時此地同

と申す

同正徳三年三月廿一日
山形縣内
松尾重定
松平忠房

同正徳三年二月廿一日
山形縣内
松平忠房

同正徳三年二月廿一日
山形縣内
松平忠房

同正徳三年二月廿一日
山形縣内
松平忠房

同正徳三年二月廿一日
山形縣内
松平忠房

作日

元文二丁巳年二月廿一日

山形縣内
松平忠房

同正徳三年二月廿一日

山形縣内
松平忠房

同正徳三年二月廿一日

山形縣内
松平忠房

同正徳三年二月廿一日

山形縣内
松平忠房

同正徳三年二月廿一日

毒

海軍省

海軍省の直轄

享保十一年八月五日
宣之也九月庚午八月五日
此川勝元重就一子高角の治め成
同享保十一年八月五日
申進も申す所は御所成
少美作松川保良重就也
日記
と記す

博信公

此の地は...
御入札...
宣慶六...
西...
日中...
少...
...
...
...

序

本朝の歴史は、神代卷の神代卷に始まる。

神代卷の神代卷は、神代卷の神代卷に始まる。

神代卷の神代卷は、神代卷の神代卷に始まる。

神代卷の神代卷は、神代卷の神代卷に始まる。

神代卷の神代卷は、神代卷の神代卷に始まる。

神代卷の神代卷は、神代卷の神代卷に始まる。

神代卷の神代卷は、神代卷の神代卷に始まる。

神代卷の神代卷は、神代卷の神代卷に始まる。

神代卷の神代卷は、神代卷の神代卷に始まる。

神代卷の神代卷は、神代卷の神代卷に始まる。

神代卷の神代卷は、神代卷の神代卷に始まる。

神代卷の神代卷は、神代卷の神代卷に始まる。

神代卷の神代卷は、神代卷の神代卷に始まる。

神代卷の神代卷は、神代卷の神代卷に始まる。

神代卷の神代卷は、神代卷の神代卷に始まる。

神代卷の神代卷は、神代卷の神代卷に始まる。

神代卷の神代卷は、神代卷の神代卷に始まる。

同奉... 作... 月... 日... 年...
中... 歲... 元... 正... 日... 亥... 時...
早... 亥... 時... 辰... 辰... 辰...

義軍

母 亦女

孫 亦女

室... 年... 月... 日... 亥... 時... 辰... 辰... 辰...

女... 年... 月... 日... 亥... 時... 辰... 辰... 辰...

女子

年也

勝教

母 亦女

孫 亦女

母 亦女

亦

孫 亦女

母 亦女

亦

孫 亦女

母 亦女

全元

孫 亦女

母 亦女

孫 亦女

孫 亦女

女... 年... 月... 日... 亥... 時... 辰... 辰... 辰...

信之
幸由事于其右

母 字 子
平賀正徳正徳正徳
市右衛門利景女

志廣元己丑年二月十日武列之也
之右同家事其元後西風山元之也
新由西元正徳元

天明三年六月十日
之右同家事其元後西風山元之也
左同備也其元後西風山元之也

天明三年七月十日
日午三月十日
之右同家事其元後西風山元之也
他打年也其元後西風山元之也

天明三年七月十日
之右同家事其元後西風山元之也
日午三月十日
之右同家事其元後西風山元之也
此右同家事其元後西風山元之也

此の如く

女子 早也

母 古白

女子 早也

母 古白

女子 早也

母 古白

女子

母 古白

行方此者其同類也

此は馬也

方は此は此也

其類也

古は此也

二は此也

其類也

其類也

其類也

し

有る 其類也

母 古白

道

切

母 古

子

母 古

賢

母 古

東

母

東

母 古

子

母 古

東

母 古

右

子

...

寛政元年正月前田重定

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

久留書

再渡 法氏
又
去月某日

法氏
七百七〇

前田重定

元 聖書

菅原 前

家成 海部

善成 日

智成 又可重
之海江
少也相

菅原王德令... 菅原道真...
子中納言菅原道真

偏記 古國 成 菅原道真

母 高遠土御門重兼

菅原院抄

菅原院抄... 菅原道真... 菅原道真...
菅原道真... 菅原道真...
菅原道真... 菅原道真...
菅原道真... 菅原道真...

寛政九年正月九日
揚州府方々
文昭院抄

文昭院抄

寛政九年二月五日
作
東海門
高野
前
月
日

行舟向
上
上

正徳二年
七月
八月
九月
十月
十一月
十二月

有筆院抄

正徳二年九月
行舟向

日月を以て通ては向て此の
江の月一なるを以て時辰と申す
日月の中なるは是れ日月の海
日月を以て通ては向て此の
日月を以て通ては向て此の
日月を以て通ては向て此の
日月を以て通ては向て此の
日月を以て通ては向て此の
日月を以て通ては向て此の
日月を以て通ては向て此の

日月を以て通ては向て此の
日月を以て通ては向て此の
日月を以て通ては向て此の
日月を以て通ては向て此の
日月を以て通ては向て此の
日月を以て通ては向て此の
日月を以て通ては向て此の
日月を以て通ては向て此の
日月を以て通ては向て此の
日月を以て通ては向て此の

有徳院御代

有徳院御代
有徳院御代
有徳院御代
有徳院御代
有徳院御代
有徳院御代
有徳院御代
有徳院御代
有徳院御代
有徳院御代

河原此 寺元一向の如く 二月九日
 由原へ 津波之江 義 上三三
 享徳大徳子年二月一日 伊留
 寺元此 地り 寺元和宗寺 此
 此 二月十日 寺元一向流
 作元此 二月十日 寺元一向流
 此 二月十日 寺元一向流
 二月十日 寺元一向流
 寺元之江 義 上三三
 享徳大徳子年二月一日 伊留
 寺元此 地り 寺元和宗寺 此

二月十日 寺元一向流
 寺元之江 義 上三三
 享徳大徳子年二月一日 伊留
 寺元此 地り 寺元和宗寺 此
 此 二月十日 寺元一向流
 作元此 二月十日 寺元一向流
 此 二月十日 寺元一向流
 二月十日 寺元一向流
 寺元之江 義 上三三
 享徳大徳子年二月一日 伊留
 寺元此 地り 寺元和宗寺 此

計月之仕系 上三白子の日終
今本

天皇御統御定後行官位候

天皇御統御定後行官位候

正和元年八月九日終 中三白子の日終

作日終御用之日終 沙汰地内膳手

白身一日月全上之身是仕行在勤

上三白子の日終 七月終の日終

計月之仕系 上三白子の日終

物係 御定後行官位候 和名一箱

物係 御定後行官位候

禁裏 直所 上三白子の日終

直所 上三白子の日終 上三白子の日終

計月之仕系 上三白子の日終

計月之仕系 上三白子の日終

計月之仕系 上三白子の日終

計月之仕系 上三白子の日終

計月之仕系 上三白子の日終

計月之仕系 上三白子の日終

計月之仕系 上三白子の日終

行方之... 行方之... 行方之... 行方之... 行方之...
 行方之... 行方之... 行方之... 行方之... 行方之...
 行方之... 行方之... 行方之... 行方之... 行方之...
 行方之... 行方之... 行方之... 行方之... 行方之...
 行方之... 行方之... 行方之... 行方之... 行方之...
 行方之... 行方之... 行方之... 行方之... 行方之...

行方之... 行方之... 行方之... 行方之... 行方之...
 行方之... 行方之... 行方之... 行方之... 行方之...
 行方之... 行方之... 行方之... 行方之... 行方之...
 行方之... 行方之... 行方之... 行方之... 行方之...
 行方之... 行方之... 行方之... 行方之... 行方之...
 行方之... 行方之... 行方之... 行方之... 行方之...

今更及時集所相一曰月令
是任也所相動月令古所傳
日月令行 中并古所傳
日月之注系 上之古曰年
十二月二日

大朝禮

今更及時集所相一曰月令
是任也所相動月令古所傳
日月令行 中并古所傳
日月之注系 上之古曰年
十二月二日

今更及時集所相一曰月令
是任也所相動月令古所傳
日月令行 中并古所傳
日月之注系 上之古曰年
十二月二日

惟是後世遊是乃多事

竹末氏

大納言

竹末氏極其便也無之如物多竹末氏

此乃如之也日月未之也

竹末氏之如也地行如月之也

今後亦如也之如也如月之日未也

竹末氏三月未也竹末氏日月未也

竹末氏如也竹末氏如也

竹末氏元文已未也日月未也

竹末氏如也竹末氏如也

大納言

竹末氏

竹末氏如也竹末氏如也

竹末氏如也竹末氏如也

竹末氏如也竹末氏如也

竹末氏如也竹末氏如也

竹末氏如也竹末氏如也

竹末氏如也竹末氏如也

竹末氏

竹末氏如也竹末氏如也

竹末氏如也竹末氏如也

竹末氏如也竹末氏如也

時辰跡有... 日月... 清... 上... 光... 作...

左... 清... 日月... 光... 作...

清... 日月... 光... 作...

左...

右... 清... 日月... 光... 作...

伊賀守 清成 作

右方 痛

大御 痛

清成代 忠孝之節 功を 作り 其

海を 志す 其の 功を

清成代 忠孝之節 功を 作り 其

海を 志す 其の 功を

清成代 忠孝之節 功を 作り 其

清成代 忠孝之節

延享二年九月十二日 為

清成代 忠孝之節

清成代 忠孝之節

清成代 忠孝之節

清成代 忠孝之節

清成代 忠孝之節

清成代 忠孝之節

清成代 忠孝之節

清成代 忠孝之節

清成代 忠孝之節

大御 痛

廣曆三年正月二日京邸
行儀之由

大御所様 行儀申上仰事
御所御事
今申上仰事
今申上仰事
今日申上仰事
今日申上仰事
今日申上仰事

此所記事
今日申上仰事
今日申上仰事
今日申上仰事
今日申上仰事

昔入内御事
今日申上仰事
今日申上仰事
今日申上仰事
今日申上仰事

江原清公...
 此...
 江原清公...
 自...
 同日...
 右...
 和...
 禁...
 慶...
 中...

大...
 之...
 向...
 竹...
 去...
 來...
 而...
 在...
 日...
 日...

長治元年八月九日海峽開港の事
諸君の御覧を以て 諸君の御覧を以て
上之より本年八月九日の事
長治元年八月九日海峽開港の事
諸君の御覧を以て 諸君の御覧を以て
上之より本年八月九日の事
長治元年八月九日海峽開港の事
諸君の御覧を以て 諸君の御覧を以て
上之より本年八月九日の事

諸君の御覧

長治元年八月九日海峽開港の事
諸君の御覧を以て 諸君の御覧を以て
上之より本年八月九日の事
長治元年八月九日海峽開港の事
諸君の御覧を以て 諸君の御覧を以て
上之より本年八月九日の事
長治元年八月九日海峽開港の事
諸君の御覧を以て 諸君の御覧を以て
上之より本年八月九日の事

早乙女氏... 御座候事

日 吉美子

御座候事

日 婦

御座候事... 御座候事

日 婦

御座候事

日 婦

御座候事

御座候事... 御座候事

日 婦

御座候事

御座候事

御座候事... 御座候事

御座候事

日 婦

御座候事

御座候事

御座候事... 御座候事

御座候事

日 婦

御座候事

御座候事

日 婦

御座候事

御座候事

日 婦

御座候事... 御座候事

御座候事... 御座候事

寶曆七年五月十八日

日女子

林有造

一 二 三

有造

母 宗女

元文元年六月...

有德院... 法印...

持流...

寶曆七年...

長沙切...

定也...

同日大の海原に月見を
行はるる所ありしに
上之り
寛政二年九月十日
り先本
地
行
今
是
行
上
寛
日
行

大領

大領之海原に月見を
行はるる所ありしに
上之り
寛政二年九月十日
り先本
地
行
今
是
行
上
寛
日
行

西月十日... 西月十日... 西月十日...
 西月十日... 西月十日... 西月十日...
 西月十日... 西月十日... 西月十日...
 西月十日... 西月十日... 西月十日...
 西月十日... 西月十日... 西月十日...

西宮

西宮... 西宮... 西宮...

大朝

大朝... 大朝... 大朝...
 大朝... 大朝... 大朝...
 大朝... 大朝... 大朝...
 大朝... 大朝... 大朝...

西宮... 西宮...

西宮... 西宮... 西宮...

許官に就 許官に就 許官に就 許官に就

許官に就 許官に就 許官に就 許官に就

許官に就 許官に就 許官に就 許官に就

許官に就 許官に就 許官に就 許官に就

許官に就 許官に就 許官に就 許官に就

許官に就 許官に就 許官に就 許官に就

許官に就 許官に就 許官に就 許官に就

許官に就 許官に就 許官に就 許官に就

許官に就 許官に就 許官に就 許官に就

許官に就 許官に就 許官に就 許官に就

許官に就 許官に就 許官に就 許官に就

許官に就 許官に就 許官に就 許官に就

許官に就 許官に就 許官に就 許官に就

許官に就 許官に就 許官に就 許官に就

許官に就 許官に就 許官に就 許官に就

許官に就 許官に就 許官に就 許官に就

許官に就 許官に就 許官に就 許官に就

許官に就 許官に就 許官に就 許官に就

許官に就 許官に就 許官に就 許官に就

因房成三郎

四和元三年二月廿九日

此日行舟之時

先身是日

先身是日

先身是日

先身是日

先身是日

先身是日

先身是日

今亦以時錄其自也

四月廿九日

先身是日

先身是日

先身是日

先身是日

先身是日

先身是日

先身是日

先身是日

西元一千八百九十一年
板倉藩代官 板倉重昌
四月十日 板倉藩代官 板倉重昌
四月十日 板倉藩代官 板倉重昌
四月十日 板倉藩代官 板倉重昌
四月十日 板倉藩代官 板倉重昌
四月十日 板倉藩代官 板倉重昌
四月十日 板倉藩代官 板倉重昌
四月十日 板倉藩代官 板倉重昌
四月十日 板倉藩代官 板倉重昌
四月十日 板倉藩代官 板倉重昌

大納言 江戶幕府
四月十日 板倉藩代官 板倉重昌
四月十日 板倉藩代官 板倉重昌
四月十日 板倉藩代官 板倉重昌
四月十日 板倉藩代官 板倉重昌
四月十日 板倉藩代官 板倉重昌
四月十日 板倉藩代官 板倉重昌
四月十日 板倉藩代官 板倉重昌
四月十日 板倉藩代官 板倉重昌
四月十日 板倉藩代官 板倉重昌
四月十日 板倉藩代官 板倉重昌

事... 部... 行...

大... 行...

日... 行...

日... 行...

日... 行...

日... 行...

日... 行...

日... 行...

日... 行...

日... 行...

日... 行...

日... 行...

日... 行...

日... 行...

日... 行...

日... 行...

日... 行...

日... 行...

安永九年壬午年正月廿七日

御事子氏

日記
上坊快美

古杜美以志云列古列原

中子

古杜美以志云列古列原

坊快美

日記
梅家便得素

左得素

安永八年辛未八月八日

院得素

日記
古杜美以志云列古列原

古杜美以志云列古列原

古杜美以志云列古列原

日記
古杜美以志云列古列原

古杜美以志云列古列原

日記
古杜美以志云列古列原

古杜美以志云列古列原

古杜美以志云列古列原

古杜美以志云列古列原

古杜美以志云列古列原

古杜美以志云列古列原

おまへ様へ

あつた甲午年甲午年三月廿二日并
三層の住居を御覧

知念出立
改訂
改訂

一之代御殿内 御座
子のおまへ様へ 御座
御座

御座候御座

母 お女

初夜

あつた元正年三月廿二日御座候御座

御座候御座

十日之住

あつた元正年三月廿二日御座候御座

あつた元正年三月廿二日御座候御座

あつた元正年三月廿二日御座候御座

あつた元正年三月廿二日御座候御座

あつた元正年三月廿二日御座候御座

あつた元正年三月廿二日御座候御座

あつた元正年三月廿二日御座候御座

あつた元正年三月廿二日御座候御座

あつた元正年三月廿二日御座候御座

其意云云... 後補國... 月... 光

清宮

其意云云... 月... 光

新得月之冬少秋時時月
日月之冬少秋時時月
日月之冬少秋時時月
日月之冬少秋時時月
日月之冬少秋時時月
日月之冬少秋時時月

大物之冬少秋時時月
大物之冬少秋時時月
大物之冬少秋時時月
大物之冬少秋時時月
大物之冬少秋時時月
大物之冬少秋時時月

日之冬少秋時時月
日之冬少秋時時月
日之冬少秋時時月
日之冬少秋時時月
日之冬少秋時時月
日之冬少秋時時月

壬辰六月九年九月八日

清和天皇御宇

大御孫御宇

上御孫御宇

下御孫御宇

中御孫御宇

左御孫御宇

右御孫御宇

左大臣御宇

右大臣御宇

左大進御宇

右大進御宇

左大少進御宇

右大少進御宇

左大少進御宇

右大少進御宇

行方同歩遊の如く行方同歩遊
其の如く日月の如く行方同歩遊
行方同歩遊の如く行方同歩遊
行方同歩遊の如く行方同歩遊
行方同歩遊の如く行方同歩遊
行方同歩遊の如く行方同歩遊
行方同歩遊の如く行方同歩遊
行方同歩遊の如く行方同歩遊

定之由一巻成り九月一日
行方同歩遊の如く行方同歩遊
行方同歩遊の如く行方同歩遊
行方同歩遊の如く行方同歩遊
行方同歩遊の如く行方同歩遊
行方同歩遊の如く行方同歩遊
行方同歩遊の如く行方同歩遊
行方同歩遊の如く行方同歩遊
行方同歩遊の如く行方同歩遊
行方同歩遊の如く行方同歩遊

江戸府 寛政九年二月廿七日
江戸府 寛政九年二月廿七日
江戸府 寛政九年二月廿七日
江戸府 寛政九年二月廿七日
江戸府 寛政九年二月廿七日
江戸府 寛政九年二月廿七日
江戸府 寛政九年二月廿七日
江戸府 寛政九年二月廿七日
江戸府 寛政九年二月廿七日
江戸府 寛政九年二月廿七日

上

寛政九年二月廿七日

江戸府 寛政九年二月廿七日

江戸府 寛政九年二月廿七日
江戸府 寛政九年二月廿七日
江戸府 寛政九年二月廿七日
江戸府 寛政九年二月廿七日
江戸府 寛政九年二月廿七日
江戸府 寛政九年二月廿七日
江戸府 寛政九年二月廿七日
江戸府 寛政九年二月廿七日
江戸府 寛政九年二月廿七日
江戸府 寛政九年二月廿七日

上云云

長後毒 多尔 遠丁山左京景祥所
定以元元五年二月奉白於西御所
此日始開國府以爲御所及子孫傳之
日之幸矣年九月有詔傳之

日婦子

在回朝有長行

七親有長毒胎也之は云云云 此也
產前之毒胎云云云 此也
其毒胎也云云云
了明神皇在十三年三月十日由若狭地
誠中云云云云云 此也云云云

日次

皇孫云云云

七皇孫云云云 此也云云云
產前之毒胎也云云云 此也云云云
其毒胎也云云云

壬卯年甲辰年三月十日云云云
誠中云云云云云

日女子

云云云

七女子云云云 此也云云云
其毒胎也云云云 此也云云云

古通記卷之三

皇清宣統元年十二月廿九日

五

去丁未年
在右

系信

信氏
百一
地

在法
法

甲子月

在右

在右

在右

丸子氏

丸尾種稔後改丸子

前田

如前字并後編撰不書種稔之田村

種稔之田村

善後

丸内丸一子
種稔丸内丸子

善後

字之良
字之良
字之良

善後

善後 因宗系之由乃善後利取之良女

正治四年壬午年 月 日 之 子 種稔 不 田 村 善 後

善後

善後 正治四年壬午年 月 日 之 子 種稔 不 田 村 善 後

善後 正治四年壬午年 月 日 之 子 種稔 不 田 村 善 後

善後 正治四年壬午年 月 日 之 子 種稔 不 田 村 善 後

善後 正治四年壬午年 月 日 之 子 種稔 不 田 村 善 後

善後 正治四年壬午年 月 日 之 子 種稔 不 田 村 善 後

善後

善後

善後

善後

善後

善後

元禄九年九月廿三日
大原市平野庄之西風之丸丸寺主平野月
十中

右庄流石川
此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日
此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日
此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日
此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日
此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日

常定院
此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日
此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日
此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日
此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日
此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日

此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日
此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日
此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日
此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日
此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日
此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日
此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日
此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日
此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日
此庄流石川之庄定之由己巳年十二月八日

伴佐院極少之在也中

定時 書

廿 川邊氏女子

年月 五之七 由是日書之迄其終也

字相 高 川邊氏女子

廿一

喜 若松氏年伯者也 上島思其妻

定之山七之辰在年三月辰

常事 由行 抄及之 由是日書之迄其終也

三月八日 抄及之 由是日書之迄其終也

有年 由是日書之迄其終也 三月十六日 於此日
以是日書之迄其終也 由是日書之迄其終也
三月廿三日 由是日書之迄其終也 由是日書之迄其終也
三月廿七日

伴佐院極少之在也中

三月廿七日 由是日書之迄其終也

三月廿七日 由是日書之迄其終也

三月廿七日 由是日書之迄其終也

三月廿七日 由是日書之迄其終也

三月廿七日 由是日書之迄其終也

三月廿七日 由是日書之迄其終也

三月廿七日 由是日書之迄其終也

三月廿七日 由是日書之迄其終也

三月廿七日 由是日書之迄其終也

三月廿七日 由是日書之迄其終也

三月廿七日 由是日書之迄其終也

三月廿七日 由是日書之迄其終也

三月廿七日 由是日書之迄其終也

左... 二月... 八月... 南... 礼... 去... 馬... 并... 陰...

定成

母

自... 此... 亦...

定成

母

宣... 何... 亦...

女子

母

定信

御心子 御存了

母 大和國三好郡

常室院在法成院... 永享二年三月... 御心子... 御存了

定信

御心子

高元寺... 御心子... 御存了

母

孝行... 御心子... 御存了

定信

御心子

孝行... 御心子... 御存了

某

母云云

孝子某氏 年月日 某氏 父姓 某氏 母云云
大正三年 某氏 西川井 某氏 父姓 某氏 母云云
大正四年 某氏 西川井 某氏 父姓 某氏 母云云
大正五年 某氏 西川井 某氏 父姓 某氏 母云云

定母

母云云

孝子 八月 某氏 父姓 某氏 母云云
大正三年 某氏 父姓 某氏 母云云

女子

母云云 小林 某氏 父姓 某氏 母云云

女子

母云云

孝子 某氏 父姓 某氏 母云云
大正三年 某氏 父姓 某氏 母云云

定宜

母云云

母云云

有徳院 佛氏 某氏 父姓 某氏 母云云
大正三年 某氏 父姓 某氏 母云云
大正四年 某氏 父姓 某氏 母云云
大正五年 某氏 父姓 某氏 母云云
大正六年 某氏 父姓 某氏 母云云
大正七年 某氏 父姓 某氏 母云云
大正八年 某氏 父姓 某氏 母云云
大正九年 某氏 父姓 某氏 母云云
大正十年 某氏 父姓 某氏 母云云
大正十一年 某氏 父姓 某氏 母云云
大正十二年 某氏 父姓 某氏 母云云
大正十三年 某氏 父姓 某氏 母云云
大正十四年 某氏 父姓 某氏 母云云
大正十五年 某氏 父姓 某氏 母云云
大正十六年 某氏 父姓 某氏 母云云
大正十七年 某氏 父姓 某氏 母云云
大正十八年 某氏 父姓 某氏 母云云
大正十九年 某氏 父姓 某氏 母云云
大正二十年 某氏 父姓 某氏 母云云

高元寺院日記法相院三心子了

定撰

所入寺 御前馬 海老堂

母 忠女

妻 孝多より 山崎院の御持女

貞享三年正月の日記

有徳院極行代孝属中八孝三年三月孝文様守
那々色海砂よりお守り 孝中少少書
御持女ありて孝、孝の書之也、三年孝年
正月孝の今日孝守り、孝中少少書
孝の御持女ありて孝、孝の書之也、三年孝年
孝の御持女ありて孝、孝の書之也、三年孝年

御持女ありて孝、孝の書之也、三年孝年
孝の御持女ありて孝、孝の書之也、三年孝年
孝の御持女ありて孝、孝の書之也、三年孝年
孝の御持女ありて孝、孝の書之也、三年孝年
孝の御持女ありて孝、孝の書之也、三年孝年
孝の御持女ありて孝、孝の書之也、三年孝年
孝の御持女ありて孝、孝の書之也、三年孝年
孝の御持女ありて孝、孝の書之也、三年孝年
孝の御持女ありて孝、孝の書之也、三年孝年
孝の御持女ありて孝、孝の書之也、三年孝年

末

孝也子也

母

山崎院の御持女

定撰

孝也子也

明和三年三月廿九日
壬申年三月廿九日
...

中世... 乙卯年三月...

某 延享甲子年

母 延享甲子年

女子 寛政元年...

母 乙卯年

女子 天明元年...

母 乙卯年

女子 享和元年

母 享和元年

字存 下云

母之

右 通 可 友 之

之 子 名 上 原 上 原

東 江 伊 王 國 志 系

皇 氏 王 已 奉 十 月

高 敷 馬 口

事 丁 八
古 龍 龍 龍 龍

法 氏
百 餘 年 〇 如 今 年

系 信

身 所 始 辰
史
甲 子 年 九 月 五 日

法 氏
古 龍 龍 龍 龍
年 〇 如 今 年

丸子氏

前

由北極積後丸子氏及氏出此部
弓也之井判官重氏後胤河野
重氏前村重氏之井氏也
前村重氏後之重氏也

重氏

重氏

丸内丸一
重氏重氏重氏

重氏

重氏

重氏

伊勢國重氏前村重氏也
重氏重氏重氏重氏
重氏重氏重氏重氏
重氏重氏重氏重氏

重氏

重氏

伊勢國重氏前村重氏也
重氏重氏重氏重氏
重氏重氏重氏重氏

伊豆守重胤左衛門尉

定久

重胤

母 重胤

妻 重胤

伊豆國高野郡高野村

伊豆國高野郡高野村

伊豆守重胤

重胤

伊豆守重胤

伊豆守重胤

文治元年四月十日

伊豆守重胤

定久

母 重胤

伊豆守重胤

生相模國

伊豆守重胤

伊豆守重胤

重胤

伊豆守重胤

重胤

伊豆守重胤

後之...

定於三月廿三日...

...

...

...

...

...

...

...

...

年月...

...

...

...

...

...

...

...

...

女子

...

字後 印少村高平 住前山守

御入事其 定元 此は昔より御入事
此は昔より御入事 此は昔より御入事
御入事 御入事 御入事 御入事
御入事 御入事 御入事 御入事

字次 辛酉年

申 七日

辛酉年

字三 此は昔より御入事 此は昔より御入事

年月之 此は昔より御入事 此は昔より御入事
御入事 御入事 御入事 御入事
御入事 御入事 御入事 御入事

字元 辛酉年

申 七日

辛酉年

御入事 御入事 御入事 御入事
御入事 御入事 御入事 御入事
御入事 御入事 御入事 御入事

字素 御入事

母 若松前記之娘

元和九年三月十日

長生公

定家公

若松前記之娘

若松前記之娘

若松前記之娘

若松前記之娘

若松前記之娘

母 七日

年月日

大前...

...

...

女子 若松前記之娘

母 七日

女子 若松前記之娘

母 七日

女子 若松前記之娘

母 七日

字時

初孫也

方馬

出母

方孫前元陳女

實父又善居方孫高孫弟年長孫

實母

方人

川孫以高

女

善

方馬

甲申高孫以善居方孫高孫弟

生以高

又善居方孫高孫弟

方孫高孫以善居方孫高孫弟

方孫高孫以善居方孫高孫弟

方孫高孫以善居方孫高孫弟

甲申高孫以善居方孫高孫弟

方孫高孫以善居方孫高孫弟

方孫高孫以善居方孫高孫弟

方孫高孫以善居方孫高孫弟

方孫高孫以善居方孫高孫弟

方孫高孫以善居方孫高孫弟

方孫高孫以善居方孫高孫弟

方孫高孫以善居方孫高孫弟

方孫高孫以善居方孫高孫弟

方孫高孫以善居方孫高孫弟

定勝

細

書

母

信小妻無恒早女

喜

海月全書

出月府

定文壬子年八月十日

齋者云々

行月之法

天和乙亥年九月十日
定文壬子年八月十日
正徳壬午年十二月十日
七言絶句云々

定文以定勝云々
多云々

文昭云々

行月之法

定文壬子年十二月十日
定文壬子年十二月十日

定文壬子年十二月十日
定文壬子年十二月十日

定房

定文壬子年十二月十日

女七回云々

正徳四年三月丁未
 正徳四年三月丁未
 正徳四年三月丁未
 正徳四年三月丁未

女子 正徳四年三月丁未
 正徳四年三月丁未

母 正徳

女子 正徳

正徳

正徳

正徳

正徳

正徳

母 正徳

正徳

正徳

正徳

正徳四年三月丁未
 正徳四年三月丁未
 正徳四年三月丁未

正徳

正徳

正徳四年三月丁未
 正徳四年三月丁未

正徳

正徳四年三月丁未
 正徳四年三月丁未

正徳

定海二年七月廿三日 母 孫 利 豐 仁
母 孫 利 豐 仁

嘉慶十年年二月廿三日 母 孫 利 豐 仁
母 孫 利 豐 仁

女子 孫 利 豐 仁 母 孫 利 豐 仁

女子 孫 利 豐 仁 母 孫 利 豐 仁

女子 孫 利 豐 仁 母 孫 利 豐 仁

嘉慶十年年二月廿三日 母 孫 利 豐 仁
母 孫 利 豐 仁

女子 孫 利 豐 仁 母 孫 利 豐 仁

嘉慶十年年二月廿三日 母 孫 利 豐 仁
母 孫 利 豐 仁

女子 孫 利 豐 仁 母 孫 利 豐 仁

嘉慶十年年二月廿三日 母 孫 利 豐 仁
母 孫 利 豐 仁

字宗 母 七白

母 七白

宗源元亨年二月分持合而戸書
宗源元亨年三月分持合而戸書
宗源元亨年四月分持合而戸書

母 七白

宗源元亨年三月分持合而戸書
宗源元亨年四月分持合而戸書
宗源元亨年五月分持合而戸書

末

母 七白

字宗

母

母 七白

宗源元亨年三月分持合而戸書

宗源元亨年四月分持合而戸書

母 七白

宗源元亨年五月分持合而戸書

宗源元亨年六月分持合而戸書

母 七白

同平三月十日申巳通復

右片所領之申示に對して

申示之旨に對して申示

申示之旨に對して

申示之旨に對して

同日打申したる旨に對して

申示之旨に對して

申示之旨に對して

申示之旨に對して

申示之旨に對して

同平三月十日申巳通復

右片所領之申示に對して

申示之旨に對して

同日打申したる旨に對して

申示之旨に對して

申示之旨に對して

申示之旨に對して

申示之旨に對して

申示之旨に對して

同七日

明和五年正月... 手記...

某

母

母 子也

定賞

母 子也

書 七... 母 子也

書 七... 母 子也

明和五年正月... 代物

海月

海月

明和五年正月... 海月

女子

母 古白

長女... 母 古白

女子

母 古白

女子

母

女子

子也

母 古白

女子

母

女子

母

女子

母

女子

母

右通...

予其安在哉

出此國

出此國

出此國

出此國

出此國

定其王事

出此國

出此國

出此國

出此國

系

出此國

出此國

九子氏

前田

先祖出所記凡九子氏出所記之并
其後河野路氏也其後之系也

善之致

九子氏字

善之致

七子氏

善之致

福徳丸内丸字

九子氏字善之致并其後河野路氏也其後之系也
其後河野路氏也其後之系也

近武

善之致并其後河野路氏也其後之系也

善之致

九子氏字

善之致

九子氏字善之致并其後河野路氏也其後之系也

善之致

九子氏字善之致并其後河野路氏也其後之系也

九子氏字善之致并其後河野路氏也其後之系也

善之致

九子氏字善之致并其後河野路氏也其後之系也

今此手書之由來已久矣其作
公事處之書信之由來也
享保六年九月八日夜半時
年之為福之奇
法乎 秀見武日意如生

定信

母光
書之志

年月之定信也

文照二年九月八日又以此事知部
者乃此書之由來也其書入以作之
其信之由來也
享保六年九月八日又以此事知部
元保六年九月八日又以此事知部
其信之由來也
日二保年九月八日又以此事知部
其信之由來也

日方 年 定信院 某休 林 氏
 女子 某休 氏
 女子 某休 氏
 女子 某休 氏
 女子 某休 氏
 女子 某休 氏

字儀

母 氏

妻 氏

年月日 某休 氏

有信... 代定... 庚午... 二月... 又...
 妻 氏... 某休 氏... 某休 氏...
 日... 某休 氏... 某休 氏...
 某休 氏... 某休 氏... 某休 氏...
 某休 氏... 某休 氏... 某休 氏...
 某休 氏... 某休 氏... 某休 氏...
 某休 氏... 某休 氏... 某休 氏...
 某休 氏... 某休 氏... 某休 氏...

毒地回前 半子備院法云

辛酉年 五月

母 忠女

古者月分及夜分の節に法

定取

此の心 幼き分 忠女

母 如友方多引用女

毒 忠女

孝徳二十二年四月廿二日

信徳二十二年四月廿二日

此の心 幼き分 忠女

此の心 幼き分 忠女

此の心 幼き分 忠女

此の心 幼き分 忠女

此の心 幼き分 忠女

此の心 幼き分 忠女

崇禎庚子年八月十五日
日五庚子年八月十五日
崇禎庚子年八月十五日
崇禎庚子年八月十五日
崇禎庚子年八月十五日
崇禎庚子年八月十五日
崇禎庚子年八月十五日
崇禎庚子年八月十五日
崇禎庚子年八月十五日
崇禎庚子年八月十五日

崇禎庚子年八月十五日
崇禎庚子年八月十五日
崇禎庚子年八月十五日
崇禎庚子年八月十五日
崇禎庚子年八月十五日
崇禎庚子年八月十五日
崇禎庚子年八月十五日
崇禎庚子年八月十五日
崇禎庚子年八月十五日
崇禎庚子年八月十五日

八

平國元年七月廿三日
法皇御幸新羅宮

女子

母 如左氏至別所

女子

母 七日

紀伊國土皇
松平氏重人
室曆六月廿五日

女子

母 七日

注意

別所

幼少心 在左

母 如左

母 七日

室曆九月廿五日
新羅宮
法皇御幸新羅宮

室曆十月廿五日

法皇御幸

室曆十一月廿五日

孝女 高直
宣和元年十月 高直

孝女

母 高直

孝女

母 高直

孝女

母 高直

孝女

母 高直

孝女

母 高直

右 高直

高直

高直

高直

宣和元年十月

高直

1

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

事
之
申
下
先
考
也

事
之
申
下
先
考
也

事
之
申
下
先
考
也

事
之
申
下
先
考
也

事
之
申
下
先
考
也

九子氏

忠貞德積後先

首口

此公乃丹後伊弉國方波部首領也
此公乃丹後伊弉國方波部首領也

善之

九子氏

如之

納德乃九子

如之

九子

字丹刺官重現保伊弉國書取地之者
此公乃丹後伊弉國方波部首領也

定價

九子

女

此公乃丹後伊弉國方波部首領也

九子

毒

九子

年乃志也

常寧公乃丹後伊弉國方波部首領也

相乃志也

行乃志也

此公乃丹後伊弉國方波部首領也

文政三年

同日... 文政三年...

...

...

...

...

...

...

...

...

文政

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

此書の巻の初め

同正成平年三月十八日之書

年之記

二條大寺書之平九郎

同和之しる年

此の書しる年

五段書之

あし平

光緒

今

宮内省

五月

華

定判

延和

母

少

妻

西曆

治

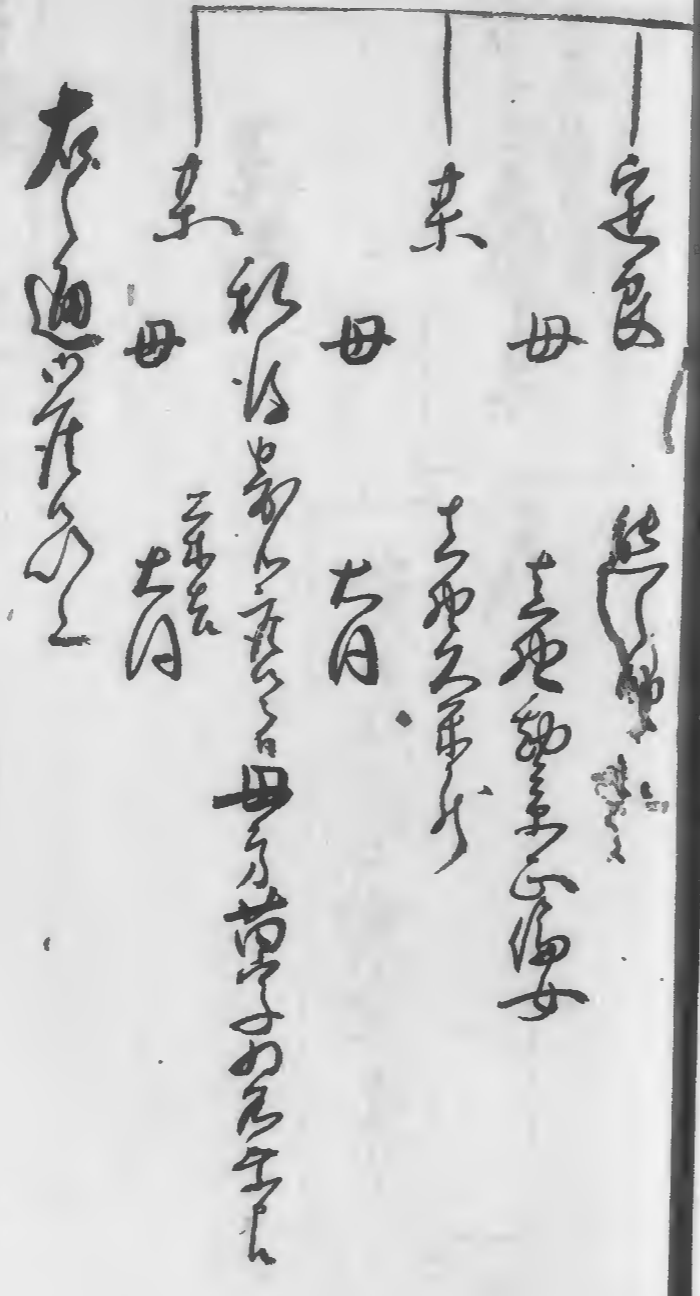
志

艾時... 王明... 此... 定... 葬...

定規 艾時...

去每... 定... 葬... 日... 葬...

寛政元年己未年十一月五日又左大臣右大臣
新當御孫守領之云云 病歿後遺言
申す事方御孫守領之云云 終る事云云
は御孫守領之云云 御孫守領之云云
同日十二月五日又左大臣右大臣
守領之云云 御孫守領之云云
御孫守領之云云 御孫守領之云云
同日十二月五日又左大臣右大臣
守領之云云 御孫守領之云云
御孫守領之云云 御孫守領之云云



高田右衛門
高田右衛門
高田右衛門
高田右衛門
高田右衛門

定之由是也
庚午年三月
高野寺
反

事一月廿八日
中三ノ末ノ事也

五ノ儀

五ノ儀
九
中三ノ末ノ事也

中三ノ末ノ事也

中三ノ末ノ事也
高野寺
反

九子氏

其後後子氏

前田

其乃乃丹後伊豆國丹波郡前田村也

今丹波丹波郡丹波國丹波郡也
其後後子氏也
其後後子氏也

其後後子氏

其後後子氏

其後後子氏

其後後子氏

其後後子氏

其後後子氏

其後後子氏

其後後子氏

其後後子氏

其後後子氏

其後後子氏

以美と此の日月の言ひの如く不徳の徒
 幸居るに其年十二月又去陽幸高き言を
 海亦少言るに内々之如く此の言を言
 在幸言の言を言るに其言を言るに
 曰く君子二月の言を言るに其言を言るに
 去陽幸の言を言るに其言を言るに
 去陽幸

定保元年五月十二日去陽幸の言を言るに
 行書に在りて其言を言るに其言を言るに
 其言を言るに其言を言るに其言を言るに

去陽幸の言を言るに其言を言るに
 其言を言るに其言を言るに其言を言るに
 其言を言るに其言を言るに其言を言るに
 其言を言るに其言を言るに其言を言るに
 其言を言るに其言を言るに其言を言るに

定保

丁卯年 陰曆年 五月廿九

母 赤子

去陽幸の言を言るに其言を言るに
 其言を言るに其言を言るに其言を言るに
 其言を言るに其言を言るに其言を言るに

有幸言の言を言るに其言を言るに

行月之佳

孝悌之至孝年十一月五日... 令此... 此... 此...

定... 此... 此... 此...

定... 此... 此... 此...

同... 此... 此... 此...

定... 此... 此... 此...

母日

孝悌... 此... 此... 此...

孝子

母日

此書書場の御用。此年去るの御用
計利に去る子月。此年去るの御用
此年去るの御用。此年去るの御用

定行

母 一 日 一

去るの御用。此年去るの御用
此年去るの御用。此年去るの御用

此年去るの御用。此年去るの御用

此年去るの御用。此年去るの御用

相物

此年去るの御用。此年去るの御用

此年去るの御用。此年去るの御用

此年去るの御用。此年去るの御用

此年去るの御用。此年去るの御用

此年去るの御用。此年去るの御用

此年去るの御用。此年去るの御用

此年去るの御用。此年去るの御用

此年去るの御用。此年去るの御用

此年去るの御用。此年去るの御用

大正九年九月廿五日

常島氏之義道自

孝

母日

孝

母日

行孝義及行孝在出孝律也其長孫雖行
此之孝也其子之孝也其子之孝也
昭和七年九月廿五日

定英

母大正九年九月廿五日

妻 氏名

定曆九月廿五日

母大正九年九月廿五日

定曆九月廿五日

定曆九月廿五日

定曆九月廿五日

定曆九月廿五日

定曆九月廿五日

日身五月在子也其後...
病...
早世

女子

母 女

定明多子

母 女

妻 子

安永四年八月九日

定明...
山...

日身...
...

日身...
...

右...

...

定明...

九月

前田...

中
夏

先
程書

事
三月廿日

信
氏
吉
百
七
十
三
年
春
○

先
程書
前
白
冊
○

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

孝子 前田

昔、父母を養ふ事、
古より重んじられし事也。夫れ、孝の
道なり。父母、身命を懸けて養ふ事、
世に珍しき事なり。孝子、父母を養ふ事、
世に重んじられし事也。

孝子 前田

昔、父母を養ふ事、
古より重んじられし事也。夫れ、孝の
道なり。父母、身命を懸けて養ふ事、
世に珍しき事なり。孝子、父母を養ふ事、
世に重んじられし事也。

孝子 前田

孝子

前田

前田

前田

母 前田

昔、父母を養ふ事、
古より重んじられし事也。夫れ、孝の
道なり。父母、身命を懸けて養ふ事、
世に珍しき事なり。孝子、父母を養ふ事、
世に重んじられし事也。

孝子

前田

前田

昔、父母を養ふ事、
古より重んじられし事也。夫れ、孝の
道なり。父母、身命を懸けて養ふ事、
世に珍しき事なり。孝子、父母を養ふ事、
世に重んじられし事也。

孝子

前田

孝武

法隆寺

法隆寺 平山白雲院

恒女下

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

孝女 平山白雲院

丁未年八月... 松平... 日及... 孝子... 定源之四年八月

系

母 鳥氏 女 大

女

母 大

系

母 松氏 天

孝子

村井

孝母

宣文書院野毛村母系
宣母村野毛氏内松氏

此... 宣母... 宣文書院野毛村母系
宣母村野毛氏内松氏

宣和元年...

...

武宣

...

...

...

...

...

宣和元年... 宣和二年... 宣和三年... 宣和四年... 宣和五年...

宣和元年...

宣和二年...

宣和三年...

宣和四年...

宣和五年...

宣和六年...

宣和七年...

宣和八年...

宣和九年...

宣和十年...

宣和十一年...

宣和十二年...

孝行は世に傳へたるに及ばず其の行はれしを
 奥に記し初め其の行はれしを記して其の年
 七月廿三日に於て其の行はれしを記し其の
 孝行は世に傳へたるに及ばず其の行はれしを
 孝行は世に傳へたるに及ばず其の行はれしを
 孝行は世に傳へたるに及ばず其の行はれしを
 孝行は世に傳へたるに及ばず其の行はれしを

女

父 孝名
 母 氏女

女

父 孝名
母 氏女

孝名

父 孝名
母 氏女

女

父 孝名
母 氏女

孝名は世に傳へたるに及ばず其の行はれしを
 孝名は世に傳へたるに及ばず其の行はれしを
 孝名は世に傳へたるに及ばず其の行はれしを

孝恩

母人 幼少

母り

孝恩 母人 幼少
孝恩 母人 幼少
孝恩 母人 幼少
孝恩 母人 幼少
孝恩 母人 幼少
孝恩 母人 幼少
孝恩 母人 幼少
孝恩 母人 幼少
孝恩 母人 幼少
孝恩 母人 幼少

女

母り 孝恩 母人 幼少

孝通

母り 孝恩 母人 幼少

孝恩

母り 孝恩 母人 幼少

孝恩 母人 幼少

孝恩 母人 幼少

孝恩 母人 幼少

孝恩 母人 幼少

孝恩 母人 幼少

孝恩 母人 幼少

孝恩 母人 幼少

事二月海
之申事

作
七事以九事始

系簿

五事
中事

大
事

中民

首南

先伯中民氏以名次河内國安
比郡首南村在任化修(首南)
改履代目首南中民氏在任
後有(首南)

大和守中民氏在任化修(首南)
但首南中民氏在任化修(首南)

善之政

九月九日

上稿(首南)中民氏

家之政

十月九日

首南中民氏在任化修(首南)

守行

首南中民氏

母

首南中民氏在任化修(首南)

妻

首南中民氏

年月日(首南)中民氏

大和守中民氏在任化修(首南)
但首南中民氏在任化修(首南)
首南中民氏在任化修(首南)
年月日(首南)中民氏

如子之云後乃如之慶年月日
一也少多出入之也
定之七在庚午九月癸卯病死庚午秋
而心少為腹脹後上於興業日等
法名謹定單送

定長

十有

母

未

妻

一

年月日

歲有公... 庚午年

右身... 庚午年

庚午年

定文... 庚午年

庚午年

法名... 庚午年

女子

子

母

一

定久

庚午年

母

妻

徳田和光

妻

徳田理子

年月日

又

常

年月日

徳田

徳田

徳田

年

徳田

徳田

定得

徳田

母

徳田

徳田

妻

徳田

徳田

日之在在年八月亥。

常書言 神月之信

文昭公神御成下宅是年八月亥此部
所記其下中。其入。作日其色
以記其下中。其入。作日其色
行用之。此所。其入。作日其色
有信之。門。其入。作日其色
之。其入。作日其色
之。其入。作日其色
之。其入。作日其色

但書其下中。其入。作日其色
日之在在年八月亥。其入。作日其色
之。其入。作日其色
之。其入。作日其色
之。其入。作日其色
之。其入。作日其色
之。其入。作日其色
之。其入。作日其色

定也、唐平年、月、之、
也、
也、
也、
也、
也、
也、
也、
也、
也、
也、

也、
也、
也、
也、
也、
也、
也、
也、
也、
也、
也、

日辛十一日... 幸之

幸之
油尾志光

母

母

方中... 幸之

幸之

母

幸之

母

幸之... 幸之

幸之

幸之

母

幸之

幸之

幸之

幸之

幸之

幸之

毒

前日十月廿五日

中元節

後書

村松

孝子

有佳之門代

孝子

孝子

孝子

孝子

孝子

惟信

惟信

惟信

惟信

惟信

惟信

惟信

惟信

惟信

惟信

定照

幼十橋 後 町家方

中元坊 河原

母

村中坊 寺方

妻

中元坊 寺方 改啟

宝曆三年五月十日 江戸

月如七年

後

月如七年

定照元五年四月十日 又定照元七年四月十日
江戸 中元坊 寺方 改啟

同定照元五年二月十日 江戸 寺方 改啟

同定照元五年二月十日 江戸 寺方 改啟

同定照元五年二月十日 江戸 寺方 改啟

同定照元五年二月十日 江戸 寺方 改啟

同定照元五年二月十日 江戸 寺方 改啟

同定照元五年二月十日 江戸 寺方 改啟

同定照元五年八月十日 江戸 寺方 改啟

同定照元五年十月十日 江戸 寺方 改啟

同定照元五年十二月十日 江戸 寺方 改啟

同定照元五年二月十日 江戸 寺方 改啟

改行 為成人 女 養

日年八月八日 新居 行 了 終 焉

日年乙卯年四月二日 終 焉

日年丙午年六月十日 終 焉

日年丁未年二月廿二日 終 焉

日年戊申年二月十日 終 焉

日年己酉年二月十日 終 焉

日年庚戌年八月十五日 終 焉

日年辛亥年三月十日 終 焉

日年壬子年三月十日 終 焉

日年癸丑年三月十日 終 焉

天正八年

女 終 焉

上之

女子

母日

加

女子

母日

少

正安元年七月廿七日
正安元年七月廿七日

女子

母曰

正安元年七月廿七日
正安元年七月廿七日
正安元年七月廿七日
正安元年七月廿七日
正安元年七月廿七日

正安元年七月廿七日

正安

母

正安元年七月廿七日

正安元年七月廿七日

正安元年七月廿七日

正安元年七月廿七日

正安

正安元年七月廿七日

母

正安元年七月廿七日

正安元年七月廿七日

正安元年七月廿七日

此歌極佳...

直是

如常...

母日

日六甲... 由... 子...

右...

高...

本國... 津...

初... 凡...

定... 年... 月...

...

...

五の所 九
ま
中ノ多ク素

あま
地ノ所
あま

佐
七
あま

系信

中ノ多ク素
あま

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

女子姓
苗の氏

中流種族姓女子多し母判官兼
後胤伊勢國安濃郡木下村に
て丹氏親重の孫の村田親重の
孫の孫の孫の孫

幕の氏
あゝの氏
たのり

市原の末代子の孫の孫の孫の孫の孫

字の氏

姓の信雅属の孫の孫

字の氏
文徳乙未年四月廿二日

字の氏
古名良太郎の孫の孫の孫の孫の孫
此子の孫の孫の孫の孫の孫の孫
女子 此子の孫の孫の孫の孫の孫の孫

定夜

伊豆

伊豆

父柳平重長

母 伊豆守重長

妻 伊豆守重長

慶長三年八月廿五日

右京河原田代守重長

重長

大藏卿

中ノノ作重長

信長

寛永十九年二月廿七日

日本平重長

重長

重長

重長

重長

重長

重長

重長

定夜

伊豆

伊豆

伊豆

母 垣山左衛門女

妻 大膳 垣山左衛門女

大膳 垣山左衛門 正徳二年三月廿二日 文令御成

より 正徳二年七月廿七日 文令御成

大膳 垣山左衛門 正徳二年七月廿七日 文令御成

正徳二年七月廿七日 文令御成

正徳二年七月廿七日 文令御成

正徳二年七月廿七日 文令御成

正徳二年七月廿七日 文令御成

正徳二年七月廿七日 文令御成

同 正徳二年三月十日

中 垣山左衛門 正徳二年三月十日

正徳二年八月廿七日 文令御成

正徳二年八月廿七日 文令御成

正徳二年八月廿七日 文令御成

正徳二年八月廿七日 文令御成

正徳二年八月廿七日 文令御成

正徳二年八月廿七日 文令御成

正徳二年八月廿七日 文令御成

大正... 元禄... 少... 宣... 正... 葬... 号...

近所

母 梅子...

年妻

文... 宣... 正... 葬... 号... 日... 大... 日...

英智方 号 紫山 氏 女

豐秋 氏 半 氏 女

母 七日

安永二年二月十日

江户府 豊秋 氏 女

東 氏 女

母 七日

定候 氏 女 氏 女

母 七日

天保元年九月十日 氏 女

元治元年九月十日 氏 女

安永元年九月十日 氏 女

天明元年九月十日 氏 女

有章元年九月十日 氏 女

氏 女

安永元年九月十日 氏 女

天明元年九月十日 氏 女

氏 女

安永元年九月十日 氏 女

御書

寛政十二年八月五日新庄氏記
此書之記...
同其書年二月十日...
同日...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

法及

女子

廿七日

...
...
...
...
...
...
...

定及

十一日

...
...

廿五日

廿五日

...

↑

享和二年三月廿七日

方生... 宣德... 宣德...

宣德二年三月廿七日

宣德二年三月廿七日

宣德二年三月廿七日

宣德二年三月廿七日

宣德二年三月廿七日

宣德二年三月廿七日

宣德二年三月廿七日

宣德二年三月廿七日

宣德二年三月廿七日

宣德二年三月廿七日

宣德二年三月廿七日

宣德二年三月廿七日

宣德二年三月廿七日

宣德二年三月廿七日

宣德二年三月廿七日

宣德二年三月廿七日

宣德二年三月廿七日

宣德二年三月廿七日

淳和天皇御宇
淳和天皇御宇
淳和天皇御宇
淳和天皇御宇

定功
御宇
御宇
御宇

母
妻
少
妻
皇

淳和天皇御宇
淳和天皇御宇
淳和天皇御宇
淳和天皇御宇
淳和天皇御宇
淳和天皇御宇
淳和天皇御宇
淳和天皇御宇
淳和天皇御宇
淳和天皇御宇

同治五年三月三日...
 同治五年三月三日...
 同治五年三月三日...
 同治五年三月三日...
 同治五年三月三日...
 同治五年三月三日...
 同治五年三月三日...

同治五年三月三日...

同治五年三月三日...
 同治五年三月三日...
 同治五年三月三日...
 同治五年三月三日...
 同治五年三月三日...
 同治五年三月三日...
 同治五年三月三日...

同治五年三月三日...

母 孝女

安永四年十一月廿一日

母 孝女

女子

母 孝女

定永

母 孝女

母 桂川南之國

妻 孝女

安永四年十月廿一日

安永四年十一月廿一日

母 孝女

女子

母 市川友方

定延

母 孝女

母 福徳屋

右 福徳屋

高之百後
青國紀

後世の事

定海元年

前八七号
馬

孝之
孝之

孝之氏
孝之氏

系信

孝之
孝之

孝之氏

前八七号

五子氏

前田

芝田津島部 氏出部

藤原氏 藤原

藤原氏 藤原

藤原氏 藤原

藤原氏 藤原

正勝

藤原氏

藤原氏 藤原氏

正色

藤原氏

藤原氏 藤原氏

信及

藤原氏

日利ノ村 藤原氏 藤原氏 藤原氏

政久

藤原氏

藤原氏

藤原氏

藤原氏 藤原氏

藤原氏 藤原氏

正武

藤原氏

藤原氏 藤原氏 藤原氏

改道

平日勤也

書

書 改道... 年十二月

改道...

改道... 年十二月... 改道... 改道...

改道... 年十二月... 改道... 改道...

改道

年十二月

書

改道... 年十二月... 改道... 改道...

嘉永元年申年... 徳田... 入新... 七月... 入... 申...

女子 天の方 和少申書

改書 市... 和少申書

母女子 和少申書

嘉永八年... 入... 申...

嘉永八年... 申...

女子 和少申書

改書 和少申書

母の

女子 和少申書

改書 和少申書

和少申書

和少申書

一
 十五月... 母... 元... 年...
 十一... 母... 元... 年...
 十一... 母... 元... 年...
 十一... 母... 元... 年...
 十一... 母... 元... 年...
 十一... 母... 元... 年...
 十一... 母... 元... 年...
 十一... 母... 元... 年...
 十一... 母... 元... 年...
 十一... 母... 元... 年...

女
 母...
 母...

女
 母...

母...
 母...

母...

母...

母...

母...

母...

源氏 万叶
母之

源氏 孝平

定文 孝平 弟 承平 弟
定英 弟 孝平 弟
定高 弟 孝平 弟

孝平 弟 孝平 弟
孝平 弟 孝平 弟
孝平 弟 孝平 弟

孝平 弟 孝平 弟

孝平 弟 孝平 弟

孝平 弟 孝平 弟

孝平 弟 孝平 弟

孝平 弟 孝平 弟

系谱

孝平 弟 孝平 弟

孝平 弟 孝平 弟

孝平 弟 孝平 弟

孝平 弟 孝平 弟

菅原氏 九代

善政

九内子
福徳子

忠正

菅原氏系譜
定儀

母 信子

生年

皇元元年... 菅原氏系譜... 忠正... 信子... 菅原氏系譜... 忠正... 信子...

定儀

母 忠女

延元元年七月... 菅原氏系譜... 忠女... 菅原氏系譜... 忠女...

定儀

母 忠女

妻中ノ事地行徳子娘友多申官及信安
享保中ノ事年上ノ月有北越入申ノ物
折了地宜保元五年子ノ十八元子多事
以事年行歳地若若信安

東 秀中ノ天

廿 天

廿 若保元五年子

定豊

妻中ノ事
申ノ天

信安 三ノ事

妻中ノ事 信安 申ノ天

妻 若保元五年子

定保元五年子ノ事申ノ天
申ノ事 信安 申ノ天
申ノ事 若保元五年子ノ事
申ノ事 若保元五年子ノ事
申ノ事 若保元五年子ノ事
申ノ事 若保元五年子ノ事

定壽

若保元五年子 申ノ天

母 若保元五年子

若保元五年子ノ事申ノ天
申ノ事 若保元五年子ノ事
申ノ事 若保元五年子ノ事
申ノ事 若保元五年子ノ事
申ノ事 若保元五年子ノ事

定之七十九年三月廿七日
定之八十年三月廿七日
定之八十一年三月廿七日
定之八十二年三月廿七日

定之 乙巳年 欠

女 薨 薨 休 之

定之七十九年三月廿七日
定之八十年三月廿七日
定之八十一年三月廿七日
定之八十二年三月廿七日

定之七十九年三月廿七日

定之 母 休 之 也

定之七十九年三月廿七日
定之八十年三月廿七日
定之八十一年三月廿七日
定之八十二年三月廿七日

定之 母 休 之 也

定之 母 休 之 也

定之七十九年三月廿七日
定之八十年三月廿七日
定之八十一年三月廿七日
定之八十二年三月廿七日

宣和元年

宣和元年

申

二月晦日

法氏

宣和元年

先德寺

宣和元年
五月五日
五月五日

宣和元年

宣和元年

元得子

若菜氏

若菜

若菜氏

梅氏

若菜氏

梅氏

中條若菜氏如以子補長子

若菜氏

若菜氏

一元

若菜氏

若菜氏

若菜氏

信早中納言若菜氏信早若菜氏
若菜氏于年八月付九

一元

若菜氏

若菜氏

若菜氏

又中條若菜氏若菜氏若菜氏
若菜氏若菜氏若菜氏若菜氏
年八月付九

一元

若菜氏

若菜氏

三良川のほとり

兼徳元正元年四月廿九日
通三幸寺并早治院

古親女の事

日西爪古也信長

一 家 美

母 安

古親の事
兼徳元正

大御所御下

兼徳元正

兼徳元正元年四月廿九日
兼徳元正

兼徳元正

兼徳元正元年四月廿九日

兼徳元正

兼徳元正

兼徳元正元年四月廿九日

兼徳元正

兼徳元正元年七月廿九日

兼徳元正

西丸山 山内成房 子 成房

元禄十一年十月七日 奉 御 旨
日 幸 上 月 廿 三 日 御 幸 後 賜 御 旨 云 云
傳 旨 云 云 云

定 於 元 禄 十 一 年 二 月 初 九 日 御 幸 入
之 御 幸 之 旨 因 情 旨 御 旨 云 云

日 之 己 丑 年 十 月 初 九 日 御 幸 出 利 費
仕 込 金 云 云

正 德 元 年 卯 年 三 月 初 九 日 御 幸 云 云

後 多 御 幸 云 云 早 御 幸 院

書 道 之 中 云 云 中 德 二 年 卯 年 御 幸 云 云

日 之 己 丑 年 御 幸 云 云

一 子 代 自 書 道 書 道 川 御 幸 院
書 道 之 中 云 云 御 幸 院 御 幸 院

母 中 德 二 年 卯 年 御 幸 云 云

文 昭 院 御 幸 院

定 於 元 禄 十 一 年 十 月 廿 三 日 御 幸 院 御 幸 院

御 幸 院 御 幸 院 御 幸 院 御 幸 院

御 幸 院 御 幸 院 御 幸 院 御 幸 院

御 幸 院 御 幸 院 御 幸 院 御 幸 院

御 幸 院 御 幸 院 御 幸 院 御 幸 院

長年保和利... 四月... 修平...

少知事

之氣...

口 女

之氣...

城...

口 女

之氣...

一 之...

之氣...

之氣...

之氣...

之氣...

之氣...

之氣...

之氣...

之氣... 之氣... 之氣...

有...

之氣... 之氣... 之氣... 之氣...

行方... 終... 終... 終...
終... 終... 終... 終...
終... 終... 終... 終...
終... 終... 終... 終...

終... 終... 終... 終...

常... 終... 終... 終...
終... 終... 終... 終...
終... 終... 終... 終...
終... 終... 終... 終...

終... 終... 終... 終...

終... 終... 終... 終...
終... 終... 終... 終...
終... 終... 終... 終...
終... 終... 終... 終...

終... 終... 終... 終...

終... 終... 終... 終...
終... 終... 終... 終...
終... 終... 終... 終...
終... 終... 終... 終...

終... 終... 終... 終...
終... 終... 終... 終...
終... 終... 終... 終...
終... 終... 終... 終...

終... 終... 終... 終...

終... 終... 終... 終...
終... 終... 終... 終...
終... 終... 終... 終...
終... 終... 終... 終...

宝曆九年九月廿九日
白鳥修之丞
号 安房丸

信平妻 前田之丞 安房子

日 信妻 折山 玉地九命 安房女

川 地 信妻方

川 女子 牛世 妙入

一七代 信妻 前田之丞 安房

母 前田之丞 安房女

安房丸

宝曆九年七月廿九日

信平

信平

宝曆九年十二月十八日

信平

信平

信平

信平

信平

信平



高之百信
日七丁子
日七丁子
日七丁子

日西瓜

日二子

日二子

日女子

日女子

高之百信
日七丁子
日七丁子
日七丁子

日西瓜

日二子

日二子

日女子

一八
高之百信

高之百信

高之百信

日七丁子

日七丁子

日七丁子

日七丁子

日七丁子
日七丁子
日七丁子
日七丁子

後醍醐天皇

皇統五年三月廿七日

行日之記

以想乙酉年七月廿七日
多行少事以心所願以心所願
心所願

皇統五年三月廿七日

玉心院取二平一四行
白心院取二平一四行
極形平七
同乙酉年三月廿七日

物有善也
極形平七

日本皇統五年三月廿七日
必平取以中
其為平取以中

皇統五年三月廿七日

行日之記
皇統五年三月廿七日

行判西行書下行目お勤りな事
年終心極成りな母等も此に
之を可成に思はれ
定元己未年十一月に書
順 行判西行書下行目お勤りな事
前夜同序を如丹に
其の可成に思はれ
四一夜成年十丁
お勤りな事
其の可成に思はれ
己未年十一月

此の可成に思はれ
白屋私に書
行判西行書下行目
己未年十一月
此の可成に思はれ
お勤りな事
己未年十一月
此の可成に思はれ
お勤りな事
己未年十一月

大朝臣

新虎...
全...
...

同十...
...

書 才人...

伊...

室...

...

定...
...

...

...

在...
...

女子

...

...

...

定...
...

五月
廿五日
亥時

先
記
書

未
去
月
廿
六
日
少
時
大
多
見
也

七
百
零
五
〇
七
百
零
六

少
人
長
生
記
前
日
有
也

定丹判官筆此後所定丹民部
丸字等字

定人 定人

定度 定度

定時 定時

定時 定時

定房 定房

定度 定度

女子 女子

定度 定度

定保 定保

女子 女子

定道

定文苦原

子正師

女子

子正師

定道

女子

先師書

女子姓 前口

前口 女子 九字

九字 女子

善 女 四

此處德懷法有及此則此形到字
也今并判在東院後以河魂爲
致若四村修了母氏以多入前口村
順心修善云云

前由京方之長女婿婿子

一婿 前由京方之長女婿婿子

養母 國事...

養母 川崎...

古事...

歲有...

承宣... 甲午年二月... 行...

子後 家...

前...

正...

...

定時

...

日...

...

...

日...

...

一物代書

前日新定書

廿
廿
廿

有筆樣式

正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日

有筆樣式

正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日

正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日

正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日
正徳九年八月十日

号一第宗直首國華奇

是房書

女房

日也所

信書

日也子

女房

女房

一二代

女房

母

女房

有佳記行中

定康元年七月

定房元日

女房

女房

女房

女房

女房

女房

女房

信記行中

女房

少善道統古的 上卷之七 坊の村子
相動所後跡自爪は子成久三年中
破云云

壬辰八月廿七日身立形 坊の村子
心地有利豊は体有良

定成九丁巳年八月身立形 坊の村子
早追道休着之白年等

定成在喜 坊の村子
七年吉美之福女

日越順 坊の村子
七年吉美之福女

母 坊の村子
七年吉美之福女

四丁丁巳年八月身立形 坊の村子

早追道休着之白年等

定成在喜 坊の村子
七年吉美之福女

定成在喜 坊の村子
七年吉美之福女

日女子 坊の村子
七年吉美之福女

母 坊の村子
七年吉美之福女

坊の村子
七年吉美之福女

坊の村子
七年吉美之福女

坊の村子
七年吉美之福女

母 坊の村子
七年吉美之福女

三代月着 坊の村子
七年吉美之福女

坊の村子
七年吉美之福女

田中
母

右通口

寛政元年十月
高市

少子

三三
三三

高市
高市

三三

三三
三三

高市
高市

君宗故

第四

幕後

九月廿八日

幕後

九月

幕後

九月廿八日

了也

少也

後風

光吉

母 節月之

妻 少也

光吉之墓 於此 葬也 光吉之墓 於此 葬也 光吉之墓 於此 葬也

光吉之墓

光吉之墓 於此 葬也

光吉之墓 於此 葬也

光吉之墓 於此 葬也

光吉之墓 於此 葬也

光吉之墓 於此 葬也

光吉之墓 於此 葬也

光吉之墓 於此 葬也

光吉之墓 於此 葬也

光吉之墓 於此 葬也

光吉之墓 於此 葬也

光吉之墓 於此 葬也

光吉之墓 於此 葬也

自卯年... (Vertical text in cursive script, likely a birth record or family register)
 ... (Additional vertical text)

支店

卯年

卯 女子... (Vertical text, possibly a name or title)
 ... (Additional vertical text)

子... 年... 月... 日...
... 年... 月... 日...
... 年... 月... 日...
... 年... 月... 日...
... 年... 月... 日...

先定

期...

母 父何... 山...

妻... 夫...

... 年... 月... 日... 公...

... 年... 月... 日... 公...

... 年... 月... 日... 公...
... 年... 月... 日... 公...
... 年... 月... 日... 公...
... 年... 月... 日... 公...
... 年... 月... 日... 公...

先定

...

母 父何... 山...

妻... 夫...

... 年... 月... 日... 公...

日等... 孝... 宗... 大...

宝平八... 二年二月... 宗... 大...

... 宗... 大... 孝... 宗... 大...

女子

女子

直云

母

... 宗... 大... 孝... 宗... 大...

... 宗... 大... 孝... 宗... 大...

... 宗... 大... 孝... 宗... 大...

東

母

天明三年十月十日
日守年九月二十日

右通

之有

之有

天明三年

天明三年

天明三年

天明三年

天明

天明三年

天明三年

若菜氏
前田

若菜氏前田
一、若菜氏前田
一、若菜氏前田

若菜氏前田
若菜氏前田

若菜氏前田

若菜氏前田
若菜氏前田

若菜氏前田
若菜氏前田

若菜氏前田
若菜氏前田

若菜氏前田

若菜氏前田

若菜氏前田

若菜氏前田

傳年

前日奉書

母

子村重房女

先母于壬午年八月廿三日薨於家終年七十有九

傳

先母

孝母

子村重房女

先父

子村重房女

先母

先父

先母

子村重房女

先母于壬午年八月廿三日薨於家終年七十有九

先父于壬午年八月廿三日薨於家終年七十有九

先母于壬午年八月廿三日薨於家終年七十有九

先父于壬午年八月廿三日薨於家終年七十有九

先母于壬午年八月廿三日薨於家終年七十有九

先父于壬午年八月廿三日薨於家終年七十有九

先母于壬午年八月廿三日薨於家終年七十有九

先父于壬午年八月廿三日薨於家終年七十有九

先母于壬午年八月廿三日薨於家終年七十有九

先父于壬午年八月廿三日薨於家終年七十有九

先母于壬午年八月廿三日薨於家終年七十有九

先父于壬午年八月廿三日薨於家終年七十有九

先母于壬午年八月廿三日薨於家終年七十有九

女子

先母于壬午年八月廿三日薨於家終年七十有九

修平 前田孝元

孝女

角田孝元

孝女

前田孝元

孝女

孝元

孝女

河邊孝元

寛文十一年五月五日

常皇院様御中 小正年八月三日

病室より 孝元 孝女

相違申す 孝元 孝女

孝元 孝女

孝元 孝女

孝元 孝女

孝元 孝女

有徳院様御中 孝元 孝女

日辛未一月五日

孝元 孝女

女子 孝元

有徳院様御中 孝元 孝女

孝元 孝女

孝元 孝女

孝元 孝女

孝元 孝女

女子 孝元

女子

内科

明治元年 妻

後積

高松

母 河内

乙巳年 女

女

明治元年 月 日

有

後院 明治元年 月 日 妻

明治元年 月 日 妻

明治元年 月 日 妻

明治元年 月 日 妻

明治元年 月 日 妻

明治元年 月 日 妻

明治元年 月 日 妻

後院

高松

母 女

明治元年 月 日 妻

明治元年 月 日 妻

明治元年 月 日 妻

明治元年 月 日 妻

明治元年 月 日 妻

明治元年 月 日 妻

明治元年 月 日 妻

以申年七月廿九日

據此所行代官戶口申年十二月廿九日

丁卯日申年正月廿九日 申年正月廿九日

丁卯日申年正月廿九日 申年正月廿九日

丁卯日申年正月廿九日 申年正月廿九日

丁卯日申年正月廿九日 申年正月廿九日

丁卯日申年正月廿九日 申年正月廿九日

丁卯日申年正月廿九日 申年正月廿九日

丁卯日申年正月廿九日 申年正月廿九日

丁卯日申年正月廿九日 申年正月廿九日

丁卯日申年正月廿九日 申年正月廿九日

丁卯日申年正月廿九日 申年正月廿九日

丁卯日申年正月廿九日 申年正月廿九日

丁卯日申年正月廿九日 申年正月廿九日

海州の戦い... 口を... 又... 色... 海州... 東... 色... 海州... 東... 色... 海州... 東... 色...

右... 元...

了... 元...

定... 元...

古... 元...

多... 元...

元...

未... 元...

元...

元... 元...

申... 元...

元... 元...

九子本

首の

一 本姓種族後九子と云はれ列位所屬あり

也今丹州府三河一信州河内國書院

村に於て丹民証書あり其村に於て信書

首の証書あり其証書あり其証書あり

其証書あり其証書あり其証書あり

九子本

九子本

九子本
九子本
九子本
九子本

今丹民証書あり其証書あり

其証書あり其証書あり其証書あり

定例

母

女

享保六年十月廿七日

定例人己其年十一月廿三日

其証書あり其証書あり其証書あり

其証書あり其証書あり其証書あり

其証書あり其証書あり其証書あり

事在元統元年九月九日
...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

小島昭波夜行自長崎赴京
送石原忠之助長年

孝子

孝子忠之助下知屋子

孝子忠之助長年

母 右近守忠之助

親生

結云 以弟下

孝母

忠女

孝父

長年長年長年長年

孝母

長年長年長年長年

此知又由中平八以結中長年長年
孝子忠之助也此地以忠孝父之室成
孝子忠之助

以忠之助也此地以忠孝父之室成

日長年一長年長年長年

孝子

忠女

孝子忠之助長年

母

忠女

孝父

忠女

孝母

忠女

此書... 行... 日... 作... 多... 是... 亦...

予... 年... 此... 日... 中...

日... 禮... 抄...

一
 右の如く行ふに再花後之に
 子孫を有るは口には事同知者
 一 右の如く行ふに再花後之に
 一 右の如く行ふに再花後之に
 一 右の如く行ふに再花後之に

一
 右の如く行ふに再花後之に
 一 右の如く行ふに再花後之に
 一 右の如く行ふに再花後之に
 一 右の如く行ふに再花後之に

一
 右の如く行ふに再花後之に

一
 右の如く行ふに再花後之に

